

各 位

作業時における感電事故防止のお願い

拝啓 寒中の候ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。
平素は当社事業に対し格別のご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、当社では、毎年冬季に、関係団体のご協力を得て、感電事故防止のためのP R活動を推進しております。

当社としましては、感電事故が起こらないよう、建築、クレーン、クレーン船作業関係の皆さまに感電事故防止に対する意識の徹底を図っていきたいと考えております。

つきましては、貴社におかれましてもP R活動の趣旨をご理解いただき、関係する皆さま方へ感電事故防止についての注意の呼び掛け等、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

敬 具

2023年 12月

九州電力送配電株式会社



**送電線が近いぞ!
あぶない!**

送電線付近での作業時は
直ちにお近くの
管理箇所へ連絡を
お願いします!



〔管理箇所: 九電ハイテック 熊本支社〕

送電グループ TEL(096)386-2259

八代事業所 TEL(0965)33-2129

天草工務所 TEL(0969)22-2361

連絡先HP <http://www.kyuden-tech.co.jp/profile/office/index.html>

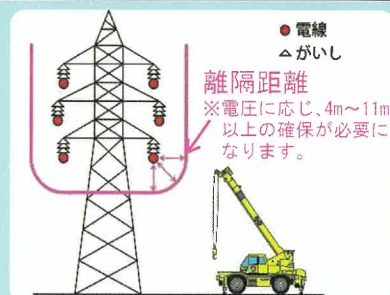
電気安全九州委員会  九州電力送配電株式会社
後援: 経済産業省 九州産業保安監督部

送電線付近での作業について

- 送電線は電圧が**2万ボルト～50万ボルト**と非常に高いので、直接電線に触れなくても**接近**するだけで、**事故が発生**する恐れがあります。
- このため、電圧に応じた**離隔距離**を確保した上で作業を行っていただく必要があります。

※離隔距離等は、打合せ時に説明します。

事故事例 https://www.kyuden.co.jp/td_supply_accident-prevention_kanden_example_index.html



送電線事故時の影響について

作業員が

“感電死傷”する

広範囲の地域で

“停電”が発生する

停電を起したことによる

“多額の賠償金”
を請求される

感電した時の危険性について

体内に流れる電流

10mA

20mA

50mA

100mA

20ボルト相当

40ボルト相当

100ボルト相当

200ボルト相当

電線近くでの作業は**危険**です!!

耐えられないほど
苦しい。

筋肉が硬直し、自ら
離れられない。

相当に危険である。

致命的結果をきたす。



6万6千ボルト送電線で感電した場合 (人体の抵抗値: 2,000オーム)

$6万6千ボルト / 2,000オーム = 33,000mA$

「重度のやけど」、細胞の壊死による「腕や足の切断」、「死亡」の危険があります。

事前打合せのお願いについて

- **送電線事故を絶対に起こさない**ために、必ず事前に当社と確保すべき送電線との**離隔距離**や**安全対策等**について、打合せをさせていただきますよう、ご協力をお願いします。

監視者の設置について

- **送電線に接近する場所**で重機作業を行う場合は、**監視者**を置き、作業を監視させる必要があります。
(労働安全衛生規則349条)

